

## 自衛隊への感謝と応援をする決議

我が国の平和と安全を維持し、国民の生命・財産を守るため、日夜任務に邁進されている自衛隊員とその家族に対し、心からの敬意と感謝の意を表する。

自衛隊の最大の任務は、我が国の防衛と公共の安寧を守ることであり、尊い職責を担っている。

その自衛隊の存在は、私たちが平穏な日常生活を営む上での揺るぎない礎である。特に、近年の激甚化する自然災害において、自衛隊が果たす役割は極めて大きい。豪雪や豪雨、地震など、本県が度重なる災害に見舞われた際、自衛隊がいち早く現場に駆けつけ、過酷な環境をもいとわず展開された救助活動や復旧支援は、被災した県民の心に大きな希望の灯をともした。危険を顧みず、一人でも多くの人々を救おうとするその献身的な姿に、私たちは深い感動と、言葉に尽くせぬ感謝の念を抱くものである。

しかしながら、これほどまでに国民・県民の安全に寄与し、国を支えている自衛隊が、日々の生活においてその崇高な職責にふさわしい敬意を一身に集めているかといえ、必ずしもそうとは言えない。

彼らが職務の象徴である制服を身にまとい街を歩く姿は、社会の安全の証であり、私たちが誇りとすべきものである。そしてその堂々とした制服姿こそが、次代を担う子ども達にとって、あこがれの存在でなければならない。自衛官が、いかなる時もその制服を誇らしく着用し、子ども達や地域社会から敬意と感謝の眼差しを受けながら堂々と歩むことができる社会こそが、健全な姿であると確信する。

ここに、自衛隊のこれまでの多大なる貢献に対し深甚なる感謝の意を表するとともに、自衛隊員の一人ひとりが不当な偏見にさらされることなく、その尊い使命にふさわしい敬意が払われる社会環境の醸成を目指す。

私たちは、自衛隊員とその家族を温かく迎え入れ、支え、誇りに思う精神が、この山形の地から広く世の中に広がっていくことを強く願い、全力を尽くして応援するものである。

以上、決議する。

令和8年7月3日

山形県議会